

中部

(とやまヘルスケアコンソーシアム)

事務局

富山県 商工労働部 商工企画課
TEL : 076-444-9606
FAX : 076-444-4401
E-mail : health@tonio.or.jp



協議会の概要

- ✓ 新・富山県ものづくり産業未来戦略に基づき、新たな成長分野に位置付けたヘルスケア産業について、富山県内の産業界、高等教育機関及び行政等の協力による、付加価値の高いヘルスケア製品の開発などを通してヘルスケア産業の振興を図っています。
- ✓ 「快適デザインヘルスケア」をコンセプトとし、新たな技術や製品の開発、製品の高付加価値化により「とやまヘルスケアブランド」の確立を目指します。

主な会員 (会員数 : 72企業・団体 ※令和4年7月31日時点)

産業界	富山県機電工業会、富山県アルミ産業協会、富山県プラスチック工業会、富山県繊維協会
大学・研究機関	富山大学、富山県立大学
行政機関	富山県 (商工労働部、厚生部)
その他	富山県新世紀産業機構

PRポイント

- ✓ ものづくり企業や介護施設、IT企業など幅広い業種からヘルスケア産業研究会の会員を募り企業のシーズと介護現場等のニーズとのマッチングを支援し、利用者視点の製品開発プロジェクトを推進します。
- ✓ 「生活工学研究所 ヘルスケア製品開発棟」と連携し、先端設備を活用して感性や五感の可視化による数値に裏付けがなされたしっかりとした製品評価することで製品品質の差別化（ブランド化）を目指します。

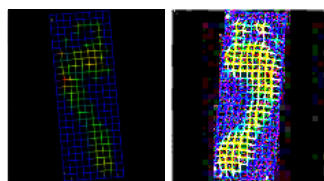
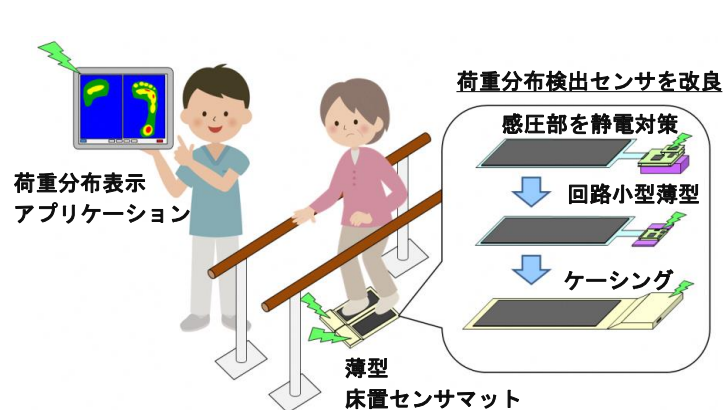
活動実績

- ✓ コーディネート活動による介護施設のニーズ調査やものづくり企業のシーズ技術とのマッチング支援や、セミナー・勉強会を実施します。
- ✓ ヘルスケア製品の研究開発補助金による製品化、事業化のための技術的課題解決の取組みを支援します。
(製品開発プロジェクト例)
 - ・歩行訓練支援装置の開発
 - ・ナノファイバー模擬皮膚材の開発
 - ・高パワー生地を活用した介護用パンツの開発

ヘルスケア製品の研究開発プロジェクト

歩行訓練支援装置

理学療法士等が伝える歩行方法を、訓練中の患者に理解を促進させるリハビリ補助ツールを開発



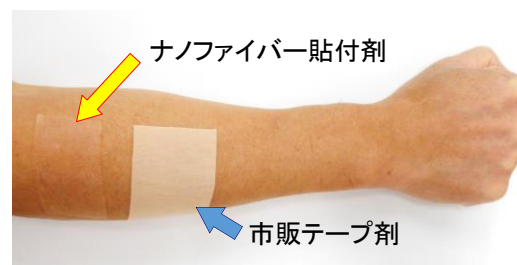
【表示アプリケーション】



【センサマット】

ナノファイバー模擬皮膚材

皮膚に貼って傷やしわ、しみなどを目立たないようにする、ナノファイバー模擬皮膚材を開発



【ナノファイバー貼付剤】



【商品化した伸縮性粘着シート】

石川県次世代ヘルスケア産業協議会

- ◆ 地域：石川県
- ◆ 設立：令和3年1月18日



事務局

石川県商工労働部産業政策課

TEL：076-225-1513

FAX：076-225-1514

E-mail：sanren-sd@pref.ishikawa.lg.jp

協議会の概要

県民の健康寿命延伸の実現に向け、県内企業のヘルスケア産業への参入支援、健康経営の推進に関する取組を実施しています。

- ✓ 会員の連携・協働による新製品・新ビジネスの創出支援
- ✓ ヘルスケア産業に関する情報の共有、国等との連携
- ✓ 健康経営の推進 等

主な会員（会員数：56企業・団体 ※令和4年8月8日時点）

医療・介護関係機関	医療法人ホスピターGROUP 浦田クリニック、国立病院機構金沢医療センター、社会福祉法人北伸福祉会、石川県立中央病院、社会福祉法人眉丈会、金沢大学附属病院
ヘルスケア関係	株式会社アルプ、株式会社AIM、大塚製薬株式会社名古屋支店金沢出張所、損害保険ジャパン株式会社金沢支店、大同工業株式会社、株式会社歯愛メディカル、三谷産業株式会社、三菱電機株式会社北陸支社事業推進部 等
金融機関	株式会社北國銀行
大学・研究機関	国立大学法人金沢大学、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学、北陸大学、金沢医科大学 国立大学法人金沢大学AIホスピタル・マイクロシグナルダイナミクス研究開発センター
行政機関	石川県産業政策課（事務局）、石川県健康推進課

PRポイント

- ✓ 石川県ヘルスケア産業協議会では、県民の健康寿命延伸に向け、県内企業のヘルスケア産業への参入支援、健康経営の推進に関する取組を行っています。

【協議会参加のメリット】

- ・ヘルスケア産業参入・健康経営に関する情報提供
- ・希望があれば、国補助金等外部資金獲得を含め、協議会事務局による個別支援を実施
- ・協議会の場を活用した自社サービスの紹介 等

【特に力を入れている点】

- ・ヘルスケア産業に参入を検討している企業に対する支援を今後、集中的に実施して行きたいと考えています。

活動実績

- ✓ 令和3年度に試行的にヘルスケア事業創造講座「石川県版西根塾トライアル」を開催し、会員向けにヘルスケア産業分野に関するマーケティング戦略についての講座を開催しました。
- ✓ 令和4年度は本格的に「石川県版西根塾」(全5回)を開催する予定です。
- ✓ こうした取組を通じて、会員のヘルスケアビジネスの事業化を後押しし、本県における同分野の裾野拡大、産業振興に繋げて行きます。

石川県次世代ヘルスケア産業協議会、石川県主催 ヘルスケア事業創造講座「石川県版西根塾トライアル」

ヘルスケア事業のマーケティング戦略に関する講座として、全国で大変好評を得ている「西根塾」を、この度、石川県でも試行的に開催することとなりました。ヘルスケア事業の基礎、今後の版路拡大に役立つ内容となっており、ヘルスケア事業への参入に関心を持つ幅広い企業の皆様にとって参考になる内容となっております。皆様のお講義を心よりお待ちしております。

講師：株式会社ヘルスケア・ビジネスナレッジ
代表取締役社長 西根 英一 氏

略歴：大塚グループ、電通グループ、マッキンゼー・ワールドグループ（CKO/最高知識責任者、後にグループ顧問）を経て、現在、株式会社ヘルスケアビジネスナレッジ代表取締役社長、産業創造大学院大学 特任教授、千葉商科大学 特任教授、産城大 非常勤講師、宣伝会議エディター兼成講座 講師、一般社団法人日本健康寿命促進協会 日本代表理事、厚生労働省健康増進局 健康増進課 健康推進官、2009-10 心臓・呼吸器科の医師として臨床医、健康経営、世論形成を担い、現在、各自治体のヘルスケア産業振興事業、ヘルスプロモーション推進事業の顧問として幅広くコーディネーター等をおこなう。

◆開講スケジュール（全2回、受講無料）

全2回の講座ですが、ヘルスケア事業の基礎、今後の版路拡大について、実践的な知識を付けて頂くため、受講者（会場・オンラインともに）には座学だけではなく、個人ワークに取り組んでいたプログラムとなっています。

【第1回】
日時：令和3年12月10日（金）10:00-12:00
会場：石川県庁 行政庁舎14階 1405会議室
（石川県金沢市榎月1丁目1番地）
オンラインとのハイブリッド開催
内容：ヘルスケア事業の立ち上げ（「0」から「1」へどのように繋げるか？）について

【第2回】
日時：令和4年1月28日（金）10:00-12:00
会場：調整中
オンラインとのハイブリッド開催
内容：ヘルスケア事業のビジネスグロース（「1」から「1.0」へどのように実現するか？）について

【令和3年度実施】 「石川県版西根塾トライアル」(全2回)

(第1回) R3.12.10
(第2回) R4.1.28

主催 石川県次世代ヘルスケア産業協議会、石川県 ヘルスケア事業創造講座「石川県版西根塾」

ヘルスケア事業のマーケティング戦略に関する講座として、全国で大変好評を得ている「西根塾」を、この度、石川県でも本格的に開催することとなりました。ヘルスケア事業の基礎、今後の版路拡大に役立つ内容となっており、ヘルスケア事業への参入に関心を持つ幅広い企業の皆様にとって参考になる内容となっております。皆様のお講義を心よりお待ちしております。

講師：株式会社ヘルスケア・ビジネスナレッジ
代表取締役社長 西根 英一 氏
略歴：大塚グループ、電通グループ、マッキンゼー・ワールドグループ（CKO/最高知識責任者、後にグループ顧問）を経て、現在、株式会社ヘルスケアビジネスナレッジ代表取締役社長、産業創造大学院大学 特任教授、千葉商科大学 特任教授、宣伝会議エディター兼成講座 講師、一般社団法人日本健康寿命促進協会 日本代表理事、厚生労働省健康増進局 健康増進課 健康推進官、2009-10 心臓・呼吸器科の医師として臨床医、健康経営、世論形成を担い、現在、各自治体のヘルスケア産業振興事業、ヘルスプロモーション推進事業の顧問として幅広くコーディネーター等をおこなう。

◆開講スケジュール（全5回、受講無料（※））

ヘルスケア事業の立ち上げから、事業を軌道に乗せるまでの基礎を実践的に学べる講座となっています。受講生（会場・オンラインともに）には座学だけではなく、ワークショップなどへの参加を通して学んで頂ける内容となっております。

- ※受講料は無料ですが、本講座のテキストである「ヘルスケアビジネスの根本」は購入を推奨しております。ご購入は事前以下のリンク先を通じてご購入いただくか、会場でも販売しております。
※ヘルスケア・ビジネスナレッジ オンラインショップ <https://healthcare.official.ec/>
- 【第1回】
日時：令和4年7月20日（水）10:00-12:00
会場：石川県庁 行政庁舎16階 1611会議室
（オンラインとのハイブリッド開催）
内容：ヘルスケア事業のローンチ(0→1)のためのアイデア開発と事業構想
- 【第2回】
日時：令和4年8月18日（木）10:00-12:00
会場：石川県庁 行政庁舎6階 811会議室（オンラインとのハイブリッド開催）
内容：ヘルスケア事業の精緻化のための調査分析とコンセプト設計
- 【第3回】
日時：令和4年10月5日（水）10:00-12:00
会場：調整中（オンラインとのハイブリッド開催）
内容：ヘルスケア事業のグロース(1→10)のためのブランディングとイシューイング

(裏面に続く)

【令和4年度開催予定】 「石川県版西根塾」(全5回)

(第1回) R4.7.20 (開催済み)
(第2回) R4.8.18
(第3回) R4.10.5
(第4回) R4.11.9
(第5回) R4.12.7

ウェルネスバレー推進協議会

事務局

愛知県 大府市 産業振興部 ウェルネスバレー推進室
TEL : 0562-45-6255 (直通) FAX : 0562-47-7320
E-mail : wellness_valley@city.obu.lg.jp
URL : <https://www.city.obu.aichi.jp/wv/index.html>
愛知県 東浦町 企画政策部 企画政策課
TEL : 0562-83-3111 (代表) FAX : 0562-83-9756

- ◆ 地域 : 愛知県 大府市・東浦町
- ◆ 設立 : 平成 23 年 1 月 18 日



協議会の概要

- ✓ 健康・長寿に関する研究機関や施設が集積した「あいち健康の森及びその周辺地区」をウェルネスバレーと名付け、超高齢社会における課題解決に向けた先駆的な取組を推進するため、ウェルネスバレー関係機関や産業界、行政等によるコンソーシアムを設置
- ✓ ウェルネスバレー推進協議会では、認知症・フレイル予防、医療・介護系ロボット開発、生活習慣病予防をテーマとし、大府市と東浦町との共同によるワンストップ窓口により、ヘルスケア産業の創出に向けた実証事業等を支援

主な構成団体（21団体 ※令和4年8月末時点）

医療・介護関係機関	あいち小児保健医療総合センター、大府病院、介護老人保健施設ルミナス大府、愛厚ホーム大府苑、住宅型有料老人ホームさわやかなの丘、介護付有料老人ホームフラワーサーチ大府、介護老人保健施設相生、特別養護老人ホームメドック東浦、社会福祉法人憩の郷
ヘルスケア関係	あいち健康の森公園、あいち健康の森薬草園、あいち健康の森健康科学総合センター
大学・研究機関	国立長寿医療研究センター、認知症介護研究・研修大府センター、至学館大学
その他	げんきの郷、ウッド・ビレッジ、大府商工会議所、東浦町商工会
行政機関	愛知県大府市（産業振興部）、東浦町（企画政策部）

PRポイント

・アイデアボックスを活用した医福工連携マッチング

医療・福祉現場から発出された課題
(ニーズ) と市内外企業による試作開発



・共同開発・実証事業の取り組み

地区の介護施設等での実証希望者
に対するサポート



・国立長寿医療研究センター健康長寿支援

ロボットセンターリビングラボ・相談窓口
介護ロボットの開発・実証・普及支援



活動実績

① 共同開発・実証事業の取り組み事例

(商品化 2 件、実証事業開始 6 件、
連携事業 1 件 2021年度)



② 医福工連携セミナー

(介護のICT・デジタル導入) (2022年2月)



③ 介護ロボット導入調査報告書

(2021年10月)



④ AMED調査報告書

(2022年3月)



⑤ 土地利用



とろみ自動調理機



見守りセンサー



電動アシスト歩行車



腰のサポーター

ウェルネスバレーブランド認定商品例



実証実験場所に「あいち健康の森公園」
を追加 (2021年度～)



musbun

スタートアップ連携事業

(ジャパンヘルスケアビジネスコンテスト
2022 アイデアコンテスト部門優秀賞
スタートアップとの連携)

みえライフイノベーション総合特区地域協議会

事務局

三重県 医療保健部 薬務課 ライフイノベーション班

TEL : 059-224-2331

FAX : 059-224-2344

E-mail : yakumus@pref.mie.lg.jp

◆ 地域 : 三重県

◆ 設立 : 平成24年2月1日



協議会の概要

- ✓ 三重県の医療・健康・福祉産業（ヘルスケア産業）を戦略的に振興することにより、本県の地域経済を担う新たなリーディング産業の創出と集積を図るとともに、医療・健康・福祉に関連した質の高い製品やサービスを供給できる地域づくりをめざす。
- ✓ 協議会には、県内大学、高等専門学校、医療・福祉団体、医療機関、金融機関、企業、国・県・市町等が参加。ヘルスケア分野の製品やサービスの創出につながる事業環境整備や支援策などについて協議・提案を実施

主な会員（会員数：37企業・団体 ※令和4年7月31日時点）

医療・介護関係機関	三重県医師会、三重県歯科医師会、三重県薬剤師会、三重県看護協会、三重県作業療法士会、三重大学医学部附属病院
ヘルスケア関係	三重県薬事工業会、辻製油株式会社等
金融機関	株式会社百五銀行、株式会社三十三銀行、株式会社商工組合中央金庫等
大学・研究機関	三重大学、鈴鹿医療科学大学、三重県立看護大学、皇學館大學、鈴鹿工業高等専門学校等
行政機関	三重県（医療保健部、雇用経済部）、鈴鹿市、津市、伊賀市、鳥羽市、尾鷲市、多気町、中部経済産業局

PRポイント

- ✓ 事業の効率的・効果的な実施に必要な規制の緩和提案や財政支援を得るため、平成24年7月、総合特区制度に基づく「みえライフイノベーション総合特区」の指定を受け、令和4年4月からは第3期総合特区計画に取り組んでいる。
- ✓ 平成25年9月、企業等の製品開発を支援する拠点「みえライフイノベーション推進センター（MieLIP）」を県内7箇所に設置。各拠点が主体となって地域の企業等の様々な製品・サービスの創出を支援。
- ✓ 令和4年度は、県内企業と医療機器メーカー等とのより効果的なマッチングを行うため、医療・福祉機器等の製品開発に意欲のある企業へのアドバイザー支援を実施。
 - ・医療機器など参入・開発に係る県内企業セミナー（令和4年7月12日、9月26日）
 - ・個別相談会

活動実績

- ✓ 県内ものづくり企業による医療・福祉機器等分野への参入・拡大促進
 - ・県内企業と医療機器メーカー等とのマッチングを実施（8件成立）
 - ・MTJAPAN主催の「第9回医療機器技術マッチングサイト交流セミナー」への県内企業15社のオンライン出展（令和4年2月1日～令和4年3月15日）
 - ・県内ものづくり企業等が参画する「みえ医療・福祉機器ものづくりネットワーク」会員数103社（令和4年7月30日時点）
 - ・JETRO「2021年度 地域への対日投資カンファレンス事業」（参加企業・機関：5社・機関）
- ✓ MieLIPを活用した製品・サービスの開発
 - ・MieLIPを活用して製品化されたヘルスケア分野の製品・サービス開発数 50件（平成29年度～令和3年度）

みえライフイノベーション推進センター（Mie Life Innovation Promotion Center : MieLIP）

MieLIPセントラル



- 統合型医療情報データベースの活用
- 学内研究者と国内外研究機関・企業等とのコーディネート
- 地域拠点サテライトなどを活用した地域共創の支援

MieLIP鈴鹿

- 医療機器、介護支援ロボット等の開発
- 医薬品、化粧品、機能性食品の開発
- 薬用植物の栽培技術研究 等



MieLIP津

- 医療・福祉機器等開発の技術支援や新規参入支援
- 食の機能性素材の開発、機能性食品の開発 等



MieLIP多気

- 医薬品企業と高校生がコラボした化粧品の開発
- 「医食同源」をテーマとした産業振興 等



MieLIP伊賀

- 医療機関と食品メーカーが連携した食品開発
- 在宅医療システムの開発 等



MieLIP鳥羽

- 海洋資源を活用した化粧品の開発
- 離島を活用した健康ツーリズムの開発 等



MieLIP尾鷲

- 海洋深層水等を活用した製品の開発
- 健康ツーリズムの開発 等



MieLIPを活用して製品化されたヘルスケア分野の製品・サービス

